279

内閣情報部八・二五　情報第一號

秘

桑港英語放送（二十二日）　（東京都市遞信局聽取）

一、（ロンドン）
日本平沼首相は昨日有田外相を官邸に招き對歐策に關する政府の具体的外交措置を協議した模様であるが日本は對歐根本方針の變更について再檢討されるものとみられてゐる

一、（ワシントン）
昨夜ベルリンで發表された獨ソ不侵略條約締結の報道は歐洲狀勢緊迫の折柄各國首都に相當大きなセンセーションを捲き起したが内でも最も驚いた者の一人は日本であらう
何故ならば獨ソの接近によりソ滿國境日ソ両軍の衝突は遠からず日本は獨力を以てソ聯に對抗する事となり日本の侵略戰を今後どう處理して行くか多大の關心がよせられてゐる

280

秘

内閣情報部八・二五　情報第二號

ダーベントリー英語放送（二十三日）　（東京都市遞信局聽取）

一、チヤンバレーン英首相は昨日緊急閣議開き其の席上に於て獨ソ不可侵條約に關聯して大要左の如く揚言した……………

獨ソ不可侵條約が締結されたので獨、伊官邊では頻りにダンチヒ問題を繞る英國の對獨方針が一變したかの樣に言傳へて居るがそんな事は絶對に無く、英國は飽迄も既定の對獨方針を堅持し、若し獨逸が右條約締結を契機にポーランドに對して軍事行動に出でるならば英國はフランス共同にて直ちにポーランドに對して援助の手を伸ばすであらう、此の際歐洲の政局に如何なる異變があるとも、獨逸がポーランドた攻撃する以上、英國の對獨方針は英全國民によつて支持されてゐる確乎不動のものである云々

一、イタリイ官邊筋では獨逸に於けると同樣に獨ソ不可侵締結は對英上、獨逸の壓倒的勝利を意味するものであると宣傳してゐる

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/